

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 全酪新報 11月1日号 全国酪農協会
第29回繁殖改善で経営向上「牛群検定活用しよう」渡邊 徹 家畜改良アドバイザー
ともかくにも繁殖重点、エサを過不足なく給与
- 2 デーリィマン 11月号 デーリィマン社
牛群検定の読み方(その14)
0.5以上のBCS増減であれば「+」「-」表示して注意喚起
- 3 LIAJニュース11月号 (一社)家畜改良事業団
①新しい牛群検定成績表について(その87) **検定成績表見方** **検索**
ケーススタディ体細胞数1
②牛群検定ビッグデータ(その30)
分娩頭数の月別変化について

検定成績表(個体検定日成績)

冬季の分娩管理にご注意を！

牛 コード	分 娩				搾 乳 又は 乾 日 ※2	今	
	年 月 日	産 次	産 子 性別 (産 - 月)	難 易		1回	2
7713	200713	1	♀	3	17	13.4	12
7708	200629	1	♂	1	31	18.4	16
7525	200628	4	♀	1	32		
7705	200323	1	♀	1	129		9
9178	200317	10	♂	1	135		5
7228	200307	8	♀	1	145		3
7221	200224	7	♀	1	157		9
7702	200220	1	死産	1	16.		
7231	200110	8	死産	1	202		7
7701	200102	1	死産	1	210	16.2	14
7603	191219	1	♀	1	224	9.0	8
7703	191219	1	♀	2	224	11.8	10

左図は検定成績の2枚目にある個体検定日成績です。成績表上での牛の並びは分娩順(搾乳日数順)となります。言い方を変えると、分娩した季節の順番とも言えます。

このような見方で左図の農家例を見ると、昨年の1月2月ごろの冬季の分娩に「死産」が多いことがわかります。分娩時の難易は1(自然分娩)です。

冬季に自然分娩で死産という場合に多い事例は、朝の搾乳前に牛舎を見廻ったら、母牛のわきで、子牛が死んでいたというパターンです。自然分娩なので、生まれた後に寒さで凍死したのか、本当に死産だったのかはわかりません。しかし、この場合、牛群検定では「死産、自然分娩」と報告されることが多いものです。

皆さんも検定成績で昨年の冬季の分娩を見てください。もし、このように冬季の死産が多い場合は、今年の冬季の自然分娩は中止して、やはり分娩立会を行う必要があります。

お試し検定にご参加下さい



これから牛群検定に参加しようと考えている農家のみなさんに朗報です。検定にかかる費用を無料とする乳用牛改良対策事業(通称:お試し検定)をご利用下さい。この事業は牛群検定の普及拡大を目的に、家畜改良事業団が実施するもので、牛群検定の6カ月間の検定経費を補助します。詳しくは検定組合にお問い合わせ下さい。

http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei_info.html

~~~牛群検定！点検シート（その66 防寒のチェック）~~~

お手許の検定成績を使いながら牛群管理の点検を行います。極簡単なものなので、これを機会に検定員といっしょに確認を行いましょう！

北国では初雪の便りが聞こえるようになりました。冬将軍の到来もうすぐです。今回は、検定成績表を使って防寒についてチェックを行ってみましょう。

農家コード
 氏名

- ・検定成績表を参考にチェックしましょう！
 ①成績表の裏面の年間子牛生産状況の新生子牛早期死亡が5％を越えていませんか？（下図）
 Yes
 No
 →Yes 子牛は寒さに大変弱く、13度を下廻ると死亡事故が増加すると言われています。哺育舎を含め子牛の防寒対策をチェックしましょう。
 Yesの対象となった場合は、防寒対策を再点検する必要があります。
- ・牛舎環境・飼養管理をチェックしましょう！
 ②ジャケットやウオーマー等で子牛を保温していますか？
 Yes
 No
 →No 子牛は寒さに大変弱く、ジャケットやウオーマーは大変に有効です。
- ③牛舎（哺育舎）を密室にしていますか？
 Yes
 No
 →Yes 密室状態はアンモニアによる呼吸器障害（肺炎）を引き起こします。特に排泄量の増えてくる子牛は要注意です。保温と換気に配慮しましょう。
- ④牛床が濡れていませんか？
 Yes
 No
 →Yes 牛床が濡れていると不衛生で乳房炎の原因となる他、凍結による転倒事故や腹冷えによる下痢、風邪などの原因となります。

年間子牛生産状況
 成績表裏面

| 母 牛   | 分娩数 | 推 定 数 |    | 推定新生子牛<br>早 期 死 亡 |       |
|-------|-----|-------|----|-------------------|-------|
|       |     | 頭     | ※4 | 頭                 | ※5    |
| 1 産   | 37  | 35    | 頭  | 3                 | 8.57% |
| 2 産   | 34  | 35    | 頭  | 0                 | 0.00% |
| 3 産以上 | 60  | 57    | 頭  | 2                 | 3.51% |
| 計     | 131 | 127   | 頭  | 5                 | 3.94% |

初産牛から出生する子牛の死亡が高い事例

初産牛の初乳は免疫が少ないので、2産以上の体細胞数の低い牛の初乳を凍結保存等すると有効です。